「東海地域の6次産業化推進人材育成」プログラム

No.	日にち	科目名	講師所属	講師	形式	授業時数
1	9月26日	基本理念（ビジョン）の共有とビジネスプランの作成方法	豊橋技術科学大学	磯山　侑里	演習（対面）	2
2	9月26日	「食の6次産業化プロデューサー」について	一般社団法人 食農共創プロデューサーズ	長谷川　潤一	対面（講師のみオンライン）	0.5
3	9月26日	ファシリテーション	フリーランス 豊橋技術科学大学大学院OB	角谷　裕司	演習（対面）	1.5
4	10月3日	6次産業化推進のポイントについて	愛知大学	藤井 吉隆	オンライン	6
5	10月10日	食品安全対策のためのHACCP管理について	豊橋市保健所	山本　新也	オンライン	3
6	10月10日	農産物の品質管理（GAP概要）	一般社団法人GAP普及推進機構	山本　英治	オンライン	3
7	10月17日	先進事例調査研修	豊橋技術科学大学、農業者、企業等	各施設担当	現地視察	4.5
8	10月24日	6次産業化実践論	株式会社ファーマーズ・フォレスト	松本　謙	オンライン	6
9	10月31日	マーケティングと経営戦略	MORE経営コンサルティング㈱	日野 眞明	演習（対面）	6
10	11月14日	ビジネスプランの作成Ⅰ	有限会社F.T.Y.	山村　友宏	演習（対面）	6
11	11月21日	農業における制度会計（財務会計・税務会計）と管理会計	税理士法人成和	渡邊　利明	演習（対面）	6
12	12月12日	食品加工論	愛知大学	功刀　由紀子	オンライン	6
13	12月19日	6次産業化における起業創業のポイント	豊橋信用金庫	雪吹　和久	オンライン	2.5
14	12月19日	農業制度資金の活用と経営支援の仕組み	日本プロ農業総合支援機構	野頭 賢一	オンライン	1
15	1月9日	ビジネスプランの作成Ⅱ	有限会社F.T.Y.	山村　友宏	演習（対面）	6
16	1月23日	ビジネスプランの発表	有限会社F.T.Y. 愛知大学 地域文化創造研究所 彩農園	山村　友宏 藤井 吉隆 横山　順子 中内田　明子	演習（対面）	6
17	11月28日 1月16日	【選択】先進事例調査研修（2回予定）	豊橋技術科学大学 農業者、企業等	各施設担当	現地視察	

＊講師敬称略

＊都合により日程等変更する場合があります

＊対面・演習（対面）科目は豊橋技術科学大学等で実施予定

科目名	基本理念（ビジョン）の共有とビジネスプランの作成方法 Business Vision and Planning		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	磯山 侑里 Isoyama Yuri（豊橋技術科学大学 特任准教授）		

授業の目標:

事業計画の全体像とアイデアの核となる部分「基本理念（ビジョン）」を理解する。現時点で想定される基本理念（ビジョン）を相互に共有・理解することで、概念の理解を促進する。

授業の内容　【120 分×1 回】

1.ビジネスプラン作成の意義と構成要素の把握
2.基本理念（ビジョン）の重要性

予習・復習内容

備考

講義形式：座学、実習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目：
レベル 2 ：事業計画（基礎）（90 分）

関連科目

6 次産業化実践論

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	マネして完成！事業計画書 — 10 業種 36 の事例で事業計画のまとめ方がよくわかる		**ISBN**	978-4-7741-6463-2
	著者名	ドリームゲート（編）	**出版社** 技術評論社	**出版年**	2014 年
参考書2	**書名**	新版 問題解決プロフェッショナル — 思考と技術		**ISBN**	978-4-478-00553-8
	著者名	斎藤 嘉則	**出版社** ダイヤモンド社	**出版年**	2010 年
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

プラン構造の俯瞰:ビジネスプランの全体像を俯瞰し、各構成要素（理念、市場分析、収益計画等）の相関関係を説明できる。

成績の評価法（定期試験、課題レポート等の配分）および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室：先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線：6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出（回答）により判定

キーワード

基本理念、ビジョン共有、ビジネスプラン全体像

科目名	ファシリテーション Facilitation		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	角谷 裕司 Sumiya Hiroshi（フリーランス　豊橋技術科学大学大学院 OB）		

授業の目標:

新事業創出における地域内外の合意形成の重要なファシリテーション技術を講義とグループワークを通じて身につける。

授業の内容　【120 分×1 回】

1.ファシリテーションの基礎知識

2. 6 次産業のアイデア創出に向けたプロセスデザイン体験

予習・復習内容

備考

講義形式:座学、実習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:

レベル 3 :コーディネート手法(応用)【支援スタッフコースのみ】(90 分)

関連科目

6 次産業化推進のポイント

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	ワークショップ・デザイン[新版] 知をつむぐ対話の場づくり		**ISBN**	978-4296118748
	著者名	堀　公俊, 加藤　彰	**出版社** 日経 BP 日本経済新聞出版	**出版年**	2023 年
参考書2	**書名**	多様な市民とつくる合意 コミュニケーションとファシリテーションのレシピ		**ISBN**	978-4872997910
	著者名	林 加代子	**出版社** イマジン出版	**出版年**	2018 年
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

対話設計力:多様な主体間で生じる利害対立に対して、ファシリテーションの基礎技法を用いて対話を促進し、相互に価値を生む関係構築に向けた解決策を検討できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。

評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。

S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

合意形成、ワークショップデザイン、ファシリテーション

科目名	ファシリテーション Facilitation		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	角谷 裕司 Kadoya Hiroshi（フリーランス　豊橋技術科学大学大学院OB）		

授業の目標:

新事業創出における地域内外の合意形成の重要なファシリテーション技術を講義とグループワークを通じて身につける。

授業の内容　【120 分×1 回】

1.ファシリテーションの基礎知識

2. 6 次産業のアイデア創出に向けたプロセスデザイン体験

予習・復習内容

備考

講義形式:座学、実習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:

レベル 3 :コーディネート手法(応用)【支援スタッフコースのみ】(90 分)

関連科目

6 次産業化推進のポイント

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	ワークショップ ― 新しい対話と創造の場		**ISBN**	978-4-00-430710-5
	著者名	中野 民夫	**出版社** 岩波書店(岩波新書)	**出版年**	2001 年
参考書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

対話設計力:多様な主体間で生じる利害対立に対して、ファシリテーションの基礎技法を用いて対話を促進し、相互に価値を生む関係構築に向けた解決策を検討できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。

評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。

S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上

A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上

B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上

C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

合意形成、ワークショップデザイン、ファシリテーション技術

科目名	6 次産業化推進のポイントについて Key Points of 6th Industrialization		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	藤井 吉隆 Fujii Yoshitaka（愛知大学 地域政策学部 教授）		

授業の目標:

6 次産業化の必要性を地域課題として捉え、連携型の成功事例からバリューチェーンのデザインを学ぶ。また、事業創出に不可欠なマーケットインの発想と、効果的なプレゼンテーション技法を習得する。

授業の内容 【90 分×4 回】

1.6 次産業化の展開パターンと課題
2.連携型成功事例の分析
3.変貌する農と食（マーケットインの発想）
4.プレゼンテーション技法（なぜ、何を、どのように）

予習・復習内容

備考

講義形式：座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目：
レベル 1 ：6 次産業化論（30 分）
レベル 2 ：6 次産業化事例分析（60 分/90 分）
レベル 3 ：コーディネート手法（応用）【支援スタッフコースのみ】（90 分/90 分）

関連科目

ファシリテーション、6 次産業化実践論

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

達成目標

・価値創出・事業構想力: 6 次産業化の意義を地域課題や市場ニーズの観点から理解し、農林漁業資源を活用した高付加価値化の考え方（マーケットイン、付加価値創出、バリューチェーン設計）を活用できる。
・協働・事業推進力：多様な事業者との連携に必要な考え方を理解し、経営的視点を踏まえて、新たな事業創出に向けた協働方法を検討できる。
・伝達・提案力：新事業の価値やビジョンを整理し、目的や場面に応じたプレゼンテーション・情報発信を実践できる。

成績の評価法（定期試験、課題レポート等の配分）および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室：先端農業バイオリサーチセンター F2-904-3、内線：6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出（回答）により判定

キーワード

バリューチェーン、マーケットイン、信頼、プレゼンテーション

科目名	食品安全対策のための HACCP 管理について HACCP Management for Food Safety		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	山本 新也 Yamamoto Shinya（豊橋市保健所 生活衛生課 課長補佐）		

授業の目標:

農産物等を原材料とする加工食品を製造する際の衛生管理手法である HACCP の概要と HACCP を実行するための書類作成や検証方法を学ぶ

授業の内容 【90 分×2 回】

1. HACCP についてⅠ
2. HACCP についてⅡ

予習・復習内容

備考

講義形式:座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 1 :食品衛生管理(基礎)(90 分)
レベル 2 :食品衛生管理(応用)(90 分)

関連科目

食品加工論、品質管理(GAP 概要)

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	HACCP 導入の手引き		**ISBN**	978-4-88925-081-7
	著者名	日本食品衛生協会 (編)	**出版社** 日本食品衛生協会	**出版年**	2017 年
参考書2	**書名**	HACCP・見える化推進 自社でもできる食品微生物の検査		**ISBN**	978-4-7821-0474-3
	著者名	戸ヶ崎 恵一 (編著)	**出版社** 幸書房	**出版年**	2023 年
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

- **HACCP の概念と重要性の理解**: 食品衛生管理の国際基準である HACCP の概要を理解し、農産物加工におけるリスク管理の重要性を説明できる。
- **衛生管理書類の作成能力**: HACCP を実行するために必要な手順書や記録表の作成方法、および検証のプロセスを習得する。
- **現場での実践的適用**: 自身の製造現場において、どの工程が重要管理点(CCP)になり得るかを特定し、具体的な管理・監視方法を提示できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

病原微生物、異物混入、HACCP

科目名	農産物の品質管理（GAP 概要） Quality Control and GAP Overview		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	山本 英治 Yamamoto Eiji（一般社団法人 GAP 普及推進機構 参与）		

授業の目標:

GAP の概要と動向、農産物の生産現場への GAP 導入の実務について学ぶ

授業の内容 【90 分×2 回】

1. GAP の概要と動向、および農業生産活動にかかわる法令について
2. 農場運営における食品安全、労働安全、環境保全の取り組み

予習・復習内容

備考

講義形式:座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 2 :農業・水産業及び食品加工・流通関連法規（60 分）, 食品衛生管理（応用）（60 分）, 農業技術と水産技術（60 分）

関連科目

食品加工論、HACCP 管理について、先進事例調査研修

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

達成目標

- **GAP の理念と制度の理解** GAP の目的（食品安全、労働安全、環境保全）を理解し、認証制度の仕組みと経営への活用メリットを説明できる。
- **関連法令と社会的責任の把握** 農業生産に関わる主要な法令を認識し、食品安全や労働安全を脅かす現場のリスクを客観的に特定できる。
- **現場改善への視点** GAP の基準に照らして自らの生産工程を見直し、安全性や持続可能性を高めるための具体的な改善の方向性を検討できる。

成績の評価法（定期試験、課題レポート等の配分）および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出（回答）により判定

キーワード

GAP、社会的責任、持続可能性、適合性評価、リスクマネジメント、5S、PDCA（継続的改善）

科目名	先進事例調査研修 Advanced Case Study Field Trip		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	各施設担当者		

授業の目標:

東海地域の先進事例を現地視察し、生産・加工・流通の現場で実践者と対話する。ビジネスとしての成功要因や現場の課題を深く解析する。

授業の内容 【270 分×1 回】

1.地産地消型直売所、加工施設等の視察
2.実践者による解説と現場ヒアリング
3.生産, 加工, 流通の実例学習

予習・復習内容

備考

講義形式:座学, 事例演習, 実習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 1 :経営及び経営分析の基礎(事例)(30 分)、農産物と水産物(30 分)、食品加工(30 分)、食品流通(30 分)
レベル 2 :農業技術と水産技術(30 分)、経営分析の応用(30 分)
レベル 3 :経営戦略(事例)(90 分)

関連科目

食品加工論、農業における会計と税制、事業構想のポイント、品質管理(GAP 概要)

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

達成目標

成功要因の抽出と移転:現場視察を通じて、実務上の成功要因と課題を特定し、自らの事業に活かすための考察を論理的に記述できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

現地研修、地産地消、実態理解、現場解析

科目名	6 次産業化実践論 Practical Theory of 6th Industrialization		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	松本　謙 Matsumoto Yuzuru（株式会社ファーマーズ・フォレスト）		

授業の目標:

1 次・2 次・3 次産業の連携による相乗効果を学ぶ。消費者視点のマーケティング、原価計算、フードシステム、商品開発の留意点を習得し、地域イノベーションの知識を深める。

授業の内容　【90 分×4 回】

1.施策概要と実務的理解
2.実践的事業計画の俯瞰
3.マーケティングと計数感
4.地域資源活用と連携方法

予習・復習内容

備考

講義形式:座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 2 :6 次産業化関連法規(60 分)、6 次産業化事例分析(60 分)、事業計画(基礎)(90 分)
レベル 3 :商品開発(60 分)

関連科目

基本理念(ビジョン)の共有とビジネスプランの作成方法、6 次産業化推進のポイント、事業構想のポイント

教科書1	**書名**	講師作成の資料		**ISBN**	
	著者名	松本　謙	**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**	交流型[6 次産業化]事業開発計画＆営業戦略資料集		**ISBN**	
	著者名	望月 洋佑／松本　謙	**出版社** 綜合ユニコム㈱	**出版年**	2016年

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	6 次産業化実践ハンドブック		**ISBN**	
	著者名	後久博	**出版社** (株)ぎょうせい	**出版年**	2013年
参考書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

・**6 次産業化実践基礎力** 6 次産業化による価値創造の仕組みを理解し、地域資源を活用した商品開発や事業展開の考え方を説明できるこれに能力名をつけるなら？

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

フードシステム、原価計算、地域資源、コーディネート論

科目名	マーケティングと経営戦略 Marketing and Management Strategy		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	日野 眞明 Hino Masaaki（MORE 経営コンサルティング株式会社 代表取締役）		

授業の目標:

ビジネス創出のための経営理念の立て方、マーケティングの基礎知識および戦略立案と IT 活用、ブランド管理について学ぶ。戦略シートの作成演習により実践力を養う。

授業の内容 【90 分×4 回】

1.経営戦略とIT 活用の基礎
2.事業計画立案の手法
3.売れるブランドマーケティングの考え方
4.戦略シート作成演習

予習・復習内容

備考

講義形式:座学、実習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 2 :マーケティング(基礎)(60 分)
レベル 3 :経営戦略(90 分), 経営管理(30 分), マーケティング(応用)(180 分)

関連科目

農業における会計と税制

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	ふせん 1 枚から始める『事業計画』~たった 1 日でできる“戦略シート”のつくり方~		**ISBN**	978-4864873413
	著者名	日野眞明	**出版社** 三恵社	**出版年**	2015
参考書2	**書名**	はじめまして 売れる『伝え方』のぜんぶです		**ISBN**	978-4866936796
	著者名	日野眞明	**出版社** ビジネスブック社	**出版年**	2022
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

- **経営戦略の構築** 経営理念の策定や SWOT 分析の手法を学び、自社の強みを活かした持続可能な経営戦略を立案できる。
- **売れるブランドの創出** ブランド化の基本ステップと管理手法を理解し、ターゲット顧客に価値を伝えるための具体的なマーケティング手法を説明できる。
- **IT 活用と事業計画の策定** 戦略シートや IT ツールを活用し、客観的な根拠に基づいた実効性の高い事業計画を構想・提示できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

ポジショニング、ターゲティング、マーケティング、ブランドデザイン

科目名　ビジネスプランの作成Ⅰ・Ⅱ Business Plan DevelopmentⅠ&Ⅱ

時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	山村 友宏 Yamamura Tomohiro（有限会社 F.T.Y 取締役）		

授業の目標:

これまでの研修成果を統合し、実効性の高いビジネスプランを具体的に作成する。研修生同士の共有と基本理念の再検討を通じ、プランの高度化を目指す。

授業の内容　【90 分×8 回】

1.研修成果の振り返りと知識の定着
2.基本理念(ビジョン)の再構築・ブラッシュアップ
3.項目別検討(マーケティング、事業内容、未検討項目)
4.ビジネスプランの具体的作成

予習・復習内容

備考

講義形式:座学、実習、事例学習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 2:事業計画(応用)(360 分)
レベル 3 :事業計画(応用)(360 分)

関連科目

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

「WORLD CAFÉ. NET」http://world-cafe.net/
ワークシート「基本理念(ビジョン)作成シート」

達成目標

総合的計画の策定:融資の判断に資するレベルの実行可能なビジネスプランを完成させることができる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

プラン作成、気づき、ワールドカフェ、高度化

科目名	農業における会計（制度会計・管理会計）と税制 Accounting for Agriculture: Financial, Tax, and Management Perspectives		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	渡邊 利明 Watanabe Toshiaki（税理士法人成和 次長）		

授業の目標：

1. 複式簿記の必要性を把握した上で、簿記の一巡の手続きを確認することにより経営者における必要な知識のひとつである複式簿記の構造と機能を理解する
2. 制度会計と管理会計の仕組みを理解し、ワークショップを通じて実践できる知識とする
3. 農業における税制を概括し、経営者にとって必要な税務の知識を身につける

授業の内容　【90 分×4 回】

1.複式簿記の必要性を把握した上で、簿記の一巡の手続きを確認することにより経営者における必要な知識のひとつである複式簿記の構造と機能を理解する
2.制度会計と管理会計の仕組みを理解し、ワークショップを通じて実践できる知識とする
3.農業における税制を概括し、経営者にとって必要な税務の知識を身につける

予習・復習内容

備考

講義形式：座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目：
レベル 1 ：経営及び経営分析の基礎（60 分）
レベル 2 ：財務の基礎（120 分），財務会計【支援スタッフコースのみ】（120 分）
レベル 3 ：経営管理（60 分）

関連科目

マーケティングと経営戦略、事業構想のポイント、先進事例調査研修

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	農業簿記検定教科書		**ISBN**	978-4-86486-446-6
	著者名	大原学園（編）	**出版社** 大原出版株式会社	**出版年**	
参考書2	**書名**	令和 6 年版 よくわかる農家の青色申告		**ISBN**	978-4-911049-48-8
	著者名	全国農業会議所・都道府県農業会議（編）	**出版社** （一社)全国農業会議所	**出版年**	2024 年
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

・**複式簿記の構造理解** 農業簿記の一巡（仕訳から決算まで）を理解し、経営判断に必要な貸借対照表・損益計算書を読み解く基礎力を習得する。
・**管理会計による経営分析** 変動損益計算や損益分岐点分析をワークショップを通じて体験し、経営改善に直結する分析手法を実践できる。
・ **農業税務と制度の把握** 農業所得に関する所得税、法人化、インボイス制度などの税務知識を習得し、経営者として適切な税務判断を行うための基礎を築く。

成績の評価法（定期試験、課題レポート等の配分）および評価基準：

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室：先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線：6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出（回答）により判定

キーワード

複式簿記、管理会計、損益分岐点、インボイス制度

科目名	食品加工論 Principles of Food Processing		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	功刀 由紀子 Kunugi Yukiko (愛知大学 名誉教授)		

授業の目標:

食品加工の意義を歴史的・科学的視点から学ぶ。原材料の特性を保持しつつ高付加価値な製品を製造するための原理、栄養成分の変化、微生物学、関連法規(食品衛生法、食品表示法等)について包括的に理解する。

授業の内容 【90 分×4 回】

I.食品加工の意義・目的
II.食品の加工と劣化の関連、栄養成分、微生物の基礎知識
III.加工技術概論(物理・化学・生物的)
IV.加工技術各論(植物性・動物性食品)
V.安全性と品質保証(規格基準、表示、衛生管理)

予習・復習内容

備考

講義形式:座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 1 :食品衛生管理(基礎)(30 分)、食品加工(基礎)(30 分)、食品流通(90 分)
レベル 2 :農業・水産業および食品加工・流通関係法規(30 分)、食品衛生管理(応用)(30 分)、食品加工(応用)(120 分)

関連科目

HACCP 管理について、品質管理(GAP 概要)、先進事例調査研修

教科書1	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
教科書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**	食品の加工 (健康・栄養科学シリーズ 食べ物と健康)		**ISBN**	978-4-524-22924-6
	著者名	太田 英明 (編集) 他	**出版社** 南江堂	**出版年**	2022 年
参考書2	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	
参考書3	**書名**			**ISBN**	
	著者名		**出版社**	**出版年**	

参考書に関する補足事項

達成目標

食品加工基礎力:食品加工の意義・目的を、歴史的背景および科学的観点(栄養成分、微生物、食品物性など)から理解し、加工による原材料の特性変化を説明できる。

加工技術応用力:食品加工技術の種類と特徴を理解し、原材料の特性や最終製品の品質との関係を踏まえて、適切な加工方法を検討できる。

食品品質管理力:食品の品質保証、関連法規、表示基準および衛生管理に関する知識を活用し、安全で信頼性の高い食品生産について説明できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

栄養成分、劣化防止加工技術、発酵作用、品質保証、食品表示基準

科目名	6 次産業化における起業創業のポイント Key Points of Business Conception		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	雪吹 和久 Fubuki Kazuhisa（豊橋信用金庫）		

授業の目標:

授業の内容　【150 分×1 回】

1.
2.
3.
4.

予習・復習内容

備考

講義形式:座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 1 :経営及び経営分析の基礎(30 分)
レベル 2 :経営分析の応用【支援スタッフコースのみ】(60 分)
レベル 3 :商品開発(30 分)

関連科目

農業における会計と税制、6 次産業化実践論、先進事例調査研修

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出　版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出　版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出　版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出　版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出　版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

達成目標

ビジネスコンセプトの立案:独自のビジョンと強いコンセプトを明確に記述できる。
顧客利益の定義:新商品を構想する際に、顧客ベネフィットを起点としたマーケティング戦略の骨子を作成できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

事業構想サイクル、ビジョン、コンセプト

科目名	農業制度資金の活用と経営支援の仕組み Agricultural Financing and Support Systems		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	
担当教員	野頭賢一 Notou Kenichi（日本プロ農業総合支援機構 常務理事兼事務局長）		

授業の目標:

日本政策金融公庫の融資制度を中心に、資金調達の手法や経営支援サービスの仕組みを学ぶ。6 次産業化における実際の融資事例を通じて実践的な知識を習得する。

授業の内容　【60 分×1 回】

1.公庫の役割と農林水産事業
2.主な融資制度と資金調達方法
3.経営支援サービスと 6 次産業化融資事例

予習・復習内容

備考

講義形式:座学

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目:
レベル 2 :金融制度【支援スタッフコースのみ】(30 分)
レベル 3 :6 次産業化関連制度【支援スタッフコースのみ】(30 分)

関連科目

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

達成目標

資金調達スキームの選定:主要な制度資金の要件を比較し、事業計画のフェーズに最適な資金調達方法を選択できる。

成績の評価法(定期試験、課題レポート等の配分)および評価基準:

小テスト・レポート等により評価する。
評価基準:原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S:達成目標の 90%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 90 点以上
A:達成目標の 80%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 80 点以上
B:達成目標の 70%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 70 点以上
C:達成目標の 60%を達成しており, かつ試験・レポートの合計点(100 点満点)が 60 点以上

定期試験

なし

定期試験詳細

その他

研究室:先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線:6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー

e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応

合格点に達しない場合は課題の再提出(回答)により判定

キーワード

政策金融、資金調達、融資事例、経営支援

科目名	ビジネスプランの発表 Business Plan Presentation		
時間割番号	**授業科目区分**	**選択必修**	必須
開講学期	**曜日・時限**	**単位数**	1
開講学部		**対象年次**	
開講学科		**開講年次**	

担当教員
藤井吉隆（愛知大学　地域政策学部　教授）
山村友宏（有限会社 F.T.Y.　取締役）
横山順子（地域文化創造研究所　所長）
中内田明子（彩農園　代表）
高山弘太郎（先端農業・バイオリサーチセンター長）

授業の目標：
完成したビジネスプランの最終発表と審査を行う。プレゼンテーションと他者評価を通じ、新事業創出能力および計画の熟度を向上させる。

授業の内容　【90 分×4 回】
1. 受講生による最終発表
2.審査員による講評および採点結果発表

予習・復習内容

備考
講義形式：座学，事例演習，実習

「食の6次産業化プロデューサーズ」プログラム認証に対応する科目：
レベル 2 ：コーディネート手法（基礎）【支援スタッフコースのみ】（90 分）
レベル 3 ：事業計画（診断）【支援スタッフコースのみ】（180 分）

関連科目

教科書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
教科書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

教科書に関する補足事項

参考書1	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書2	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**
参考書3	**書名**		**ISBN**
	著者名	**出版社**	**出版年**

参考書に関する補足事項

達成目標
戦略的プレゼンテーション：自らのプランを論理的・説得的に発表し、専門家からの質疑に対して根拠を伴った回答ができる。
事業診断とアドバイス：他者のプランを客観的指標（財務・マーケティング等）に基づいて評価し、具体的な改善策を提案できる。

成績の評価法（定期試験、課題レポート等の配分）および評価基準：
小テスト・レポート等により評価する。
評価基準：原則的にすべての講義を受講したものにつき、下記のように成績を評価する。
S：達成目標の 90%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 90 点以上
A：達成目標の 80%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 80 点以上
B：達成目標の 70%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 70 点以上
C：達成目標の 60%を達成しており，かつ試験・レポートの合計点（100 点満点）が 60 点以上

定期試験
なし

定期試験詳細

その他
研究室：先端農業バイオリサーチセンター　F2-904-3、内線：6655、e-mail: support@recab.tut.ac.jp

ウェルカムページ
e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

オフィスアワー
e-メールで随時応対します。support@recab.tut.ac.jp

学習・教育到達目標との対応
合格点に達しない場合は課題の再提出（回答）により判定

キーワード
最終発表、プレゼンテーション、他者評価、事業創出能力